

受け持ち看護実習	2年・後期	2単位 90時間	准教授 丸澤遊 他
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33110572

1. 授業のねらい・概要

学生が、健康障害のある対象者の生活行動におけるニーズを理解するとともに、看護実践の体験を通して看護過程を展開し、健康回復にかかわる看護の基礎的実践能力を養うことを目的とする。

2. 学修の到達目標

1. 患者を受け持ち、一連の看護過程を展開できる。(D-2)
2. 患者の状態に合わせて日常生活援助を実施できる。(D-2)
3. 実習を通して看護に対する理解を深めることができる。(D-2)
3. 保健医療福祉チームの一員であることを自覚し、看護学生として責任ある行動ができる。(D-2)

3. 授業の進め方

少人数のグループを組み、実習施設に分かれ受け持ち患者を持ち看護過程の展開を行う。また、カンファレンスを通し、学びを共有し深めていく。実習での学びを記録し自己省察する。

【アクティブ・ラーニングの実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして、事前学習型授業、議論型授業、体験学習、レポートを用いる。

【ICT活用の有無】

ICT活用の実施：Classroom等による学習課題の提示、メールによる質問等の受付等。

4. 授業計画（実習/実技）

時間	場所	内容	課題学習
1.5時間	学内	実習オリエンテーション①	※実習要項参照
1.5時間	学内	実習オリエンテーション②	
9:00～16:00	学内	事前学習、看護技術練習	日々の記録 疾患の理解Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ ケアノート 基本情報 アセスメントシート 関連図 看護診断リスト 看護計画 SOAP 経過表 レポート ※詳細は実習要項参照
8:30～16:00	病院	病棟オリエンテーション、情報収集	
8:30～16:00	病院	情報収集、アセスメント	
8:30～16:00	病院	情報収集、アセスメント、関連図	
8:30～16:00	病院	アセスメント、関連図、看護問題抽出	
9:00～16:00	学内	看護過程の修正、看護技術練習	
8:30～16:00	病院	看護計画の実施・評価	

8:30～16:00	病院		
8:30～16:00	病院		
1 時間	学内	知識評価試験	実習に関する知識の復習

5. 成績評価の方法・基準

実習内容（実習態度，実習内容および実習記録，レポート）90%，知識評価試験 10%を総合的に評価する。（実習要項を必ず参照すること）

評価対象は 5 分の 4 以上の出席した者かつ期限内に記録物の最終提出をした者である。

知識評価試験は，60 点以上を合格とする。

評価対象物は，「2. 学修の到達目標」に示した達成状況を，ルーブリック評価表を基に，5 段階評価で採点する。尚，ルーブリック評価表に関する詳細は，実習オリエンテーション内で説明する。

実習要項を必ず参照すること。

6. テキスト・参考文献

テキスト：これまで基礎看護学で使用した教科書・資料を積極的に活用すること。

参考書：必要に応じて適宜紹介する。

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な学修内容

これまでの基礎看護学の授業，看護過程および看護技術を復習し実習に臨むこと。事前学習は，指示されたようにノートにまとめること。看護技術に関しては，指示された技術を 3 回以上自己練習すること。尚、実習中は毎日，最低 1 時間以上の予習・復習を行うこと。

8. 受講上の留意事項

本実習に関連したスケジュールには全て出席することを基本とする。

本実習の詳細については実習要項に記載されているので，熟読して実習に臨むこと

常に相手の立場を考え，学ぶ者としての態度で，人間尊重，人権擁護，個人情報保護，安全への配慮等倫理面の配慮を十分に行い実習すること。実習共通要項に従った身だしなみ・準備・態度を実習参加の条件とする。

9. 課題に対するフィードバックの方法

事前学習ノートは担当教員からの点検を受けて返却する。必要に応じて追加修正する。内容が不十分な場合は再提出を求める。看護技術練習を行い，教員の指導を受け，実習において実施できるようにする。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり，修得できない場合進級不可となる。

11. 該当する本授業は，以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における看護師としての実務経験を活かして，実習の指導を行う。